

# 第3章

## 健康政策課



健康政策課は、企画調整庶務担当、健康づくり担当、保健栄養担当及び予防接種担当で組織され、企画調整庶務担当は、保健所運営会議の開催、保健所の公有財産管理、各種統計調査等を行った。健康づくり担当は、はちおうじ健康づくり推進協議会と共に、健康増進の普及・啓発を行った。保健栄養担当は、対象者に対する保健栄養に関する指導・助言を行った。予防接種担当は、各種予防接種を実施した。

## 1 広報活動・健康教育

### (1) 広報活動

#### ア 広報媒体の活用

市広報等を通じて事業の周知を図るほか、所内外に垂れ幕及び看板等を掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況（表 1 - 1）

種 別	件 数	内 容
広報「はちおうじ」 (特集号記事含む)	44件	健康政策課22件、生活衛生課8件、保健対策課14件
タウン誌	3件	健康政策課 3 件
看板の掲示	4件	健康政策課 2 件、保健対策課 2 件
シティビジョン等	3件	保健対策課 3件
医師会報	12件	・

#### イ ホームページによる情報提供

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報等をタイムリーに提供するため、ホームページによる情報提供に取り組んだ。

- ・ホームページアドレス

(PC版) [http://www.city.hachioji.tokyo.jp/hoken\\_iryō/hachi\\_hokenjyo/index.html](http://www.city.hachioji.tokyo.jp/hoken_iryō/hachi_hokenjyo/index.html)

(モバイル版) <http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/>

### (2) 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。

保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材などを利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況（表 1 - 2）

区 分	総 数		会 場			
	回数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
26 年 度 総 数	122	7,945	35	962	87	6,983
<b>27 年 度 総 数</b>	<b>132</b>	<b>8,314</b>	<b>43</b>	<b>978</b>	<b>89</b>	<b>7,336</b>
感 染 症 (結核・エイズ含む)	24	2,160	2	46	22	2,114
精 神	19	2,135	2	67	17	2,068
難 病	3	118	2	103	1	15
ア レ ル ギ ー	—	—	—	—	—	—
成 人 ・ 老 人	—	—	—	—	—	—
栄 養 ・ 健 康 教 育	16	433	4	25	12	408
歯 科	—	—	—	—	—	—
医 事 ・ 薬 事	7	314	—	—	7	314
食 品	55	2,490	31	674	24	1,816
環 境	8	664	2	63	6	601
そ の 他	—	—	—	—	—	—

(3) DVD等の活用

当所所有のDVD等は、講習会等で利用するとともに学校や老人福祉施設等への貸出も行うことで、衛生思想の普及を図った。

DVD等の地域への貸出状況（表 1 - 3）

区 分	食 品 衛 生	環 境 衛 生	栄 養	歯 科	運 動	健 康 づ くり	薬 乱 防 止	喫 煙 防 止	ア ル コ ー ル	救 急	思 春 期	エ イ ズ	感 染 症	S T D	精 神 保 健	合 計
数	13	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	24	—	—	43

(4) AED（自動体外式除細動器）練習機の貸出

当所所有のAED練習機を学校や地域団体に貸出を行い、AEDの活用方法の普及を図った。

AED練習機の貸出状況（表 1 - 4）

貸出先	学校	町会自治会	他団体	庁内	合 計
回 数	10	1	3	1	15

## 2 研修・教育

### 実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、保健師、管理栄養士、学生に対して下表のような指導を実施した。また、保健所事業以外の業務についても保健福祉センター等の見学を依頼し、対人保健サービスに関する理解を深めた。

平成27年度実習生等指導状況（表2-1）

対象	学校名	実施期間	指導人員	指導内容等
保健師学生	杏林大学保健学部看護学科	5月18日～8月7日	8名	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、結核検診等
管理栄養士学生	実践女子大学生生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻	5月15日～11月20日	12名	講義：保健所各課及び保健栄養業務について 見学：乳児健診、特定給食施設指導等
医学生	順天堂大学医学部生 新潟大学医学部生	6月5日～2月12日	6名	講義：結核について等 見学：精神デイケア、小児慢性特定疾病審査会、結核の接触者検診、感染症の診査に関する協議会、精神疾患患者の家庭訪問の動向等

## 3 情報公開

保健所が保有する情報に対する公文書公開請求及び関係機関からの行政照会の件数は、下表のとおりであり、適切に公文書の公開又は情報の提供を行った。

表3-1

区分	件数	食品衛生	医事薬事	環境衛生	その他
公文書 公開請求	242	180	94	92	1
行政照会	80	46	22	12	—

\* 公文書公開請求の件数には、情報提供依頼件数を含む。各区分に計上した数は、各請求・照会ごとの対象公文書数を合計しているため、これらの計は件数と一致しない場合がある。

## 4 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

### (1) 人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

## (2) 衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。平成27年度における市内の実施状況は次のとおりである。

各種統計調査実施状況（表4-1）

調査名	目的	期日	対象
国民生活基礎調査	国民の保健・医療・福祉・年金等、国民生活の基礎的事項を調査して、厚生労働行政の企画及び立案の基礎資料とするとともに各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定する。	6月4日	6 地区 387 世帯
2015年社会保障・人口問題基本調査 (第15回出生動向基本調査)	他の公的統計では把握することのできない結婚ならびに夫婦の出生力に関する実状と背景を定時的に調査・計量し、関連諸施策ならびに将来人口推計をはじめとする人口動向把握に必要な基礎資料を得ることを目的とする。	6月25日	5 地区 夫婦51組 独身者149人

## (3) その他の統計・調査

### 地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を厚生労働省へ報告した。

## 5 健康づくり

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政がネットワークをつくり、健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを進めるため、「はちおうじ健康づくり推進協議会」を平成15年11月に設立した。同協議会とともにイベント等を通し、健康づくりに関する普及啓発活動を実施した。

### (1) 健康ネットワークとして健康づくりを支援する活動

#### ア 第12回市民健康の日「2015健康フェスタ」(平成27年5月17日開催)

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりを楽しみながら体験できるイベントを開催した。

健康フェスタ全体会及び実行委員会（表5-1）

項目	回数	開催日		内容等
健康フェスタ全体会	3	第1回	平成26年 11月20日	開催にむけて、はちおうじ健康づくり推進協議会団体より「レクリエーション部門」「保健・医療部門」「会場部門」の3部門より構成された健康フェスタ実行委員会を設置し開催に向け検討を進めた。
		第2回	平成27年 5月8日	
		第3回	6月19日	
健康フェスタ実行委員会	5	第1回	平成26年 12月18日	
		第2回	平成27年 1月7日	
		第3回	2月6日	
		第4回	3月6日	
		第5回	4月10日	

### 健康フェスタ開催（表5-2）

年度	会場	参加団体	来場者
26	富士森公園陸上競技場・市民体育館	45 団体	9,222 名
27	エスフォルタアリーナ 八王子	45 団体	9,353 名

### イ 「健康づくり活動発表会」健康づくりSHOW（平成28年2月28日開催）

地域でいきいきと活動しているグループや団体の発表を通じて、地域における健康づくりの活性化を図る事を目的に開催した。

### 健康づくりSHOW実施状況（表5-3）

年度	内容	会場	参加団体	来場者
26	サルコペニアとロコモ予防で健脚美人～ 講師：NPO 法人 HAP 理事長 宮原富士子 氏	学園都市センター	10 団体	134 名
27	健康寿命をのばそう はちおうじ ～いつまでもこのまちで 楽しく元気に暮らすために～	学園都市センター	10 団体	149 名

### （2）健康増進に関する正しい情報の提供に向けての活動

#### ア 第37回八王子いちよう祭りへの参加（平成27年11月21・22日開催）

健康づくりに関する健康情報の発信や市民健康の日のPRを行った。

### いちよう祭り参加状況（表5-4）

年度	参加団体	来場者
26	10 団体	5,031 名
27	9 団体	5,238 名

### （3）生涯を通じた女性の健康支援事業

妊娠、出産等女性固有の機能及び身体的特徴を有することから生じる女性の心身に関するさまざまな支障や悩みに対応するため、関係所管とともに教育・相談等を実施した。

### 支援事業実施状況（表5-5）

区分	実施回数
健康教育	257
健康相談	222
不妊・不育症相談	通年実施

## 6 保健栄養

健康増進法に基づき、専門的な知識や技術を必要とする対象者への栄養指導や、特定給食施設には適切な栄養管理が行えるよう必要な指導・助言やスキルアップ・情報提供等を目的とした講習会を開催した。

また、八王子市食育推進計画をふまえ、市民一人ひとりが食に関する理解や関心を深め、適切な食の選択による望ましい食生活を実践することを目指し、すべてのライフステージにおいて健康維持増進と生活習慣病予防のための取組等を行った。

(1) 専門的栄養指導等

生活習慣病ハイリスク者・在宅難病患者等への専門的栄養指導及び集団指導を行った。

ア 個別栄養指導

個別栄養指導状況 (表 6-1)

年 度	総数	再掲			
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他
26	54	36	5	12	—
<b>27</b>	<b>54</b>	<b>42</b>	<b>58</b>	<b>13</b>	<b>1</b>

イ 集団栄養指導

集団栄養指導状況 (表 6-2)

年 度	総数	再掲			
		生活習慣病	難病	その他疾病	精神
26	537	443	—	—	28
<b>27</b>	<b>204</b>	<b>14</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>25</b>

(2) 特定給食施設指導

健康増進法に基づく特定給食施設（児童福祉施設、病院、社会福祉施設、事業所等）に対して、施設特性に応じた栄養効果の十分な給食が実施され、喫食者の健康増進が図られるよう、個別指導（来所、電話、巡回）及び集団指導として栄養管理講習会を年間6回行った。

給食施設数 (表 6-3)

年 度	総 数	学 校	病 院	介護老人保健施設	老人福祉施設	児童福祉施設	社会福祉施設	矯正施設	寄宿舎	事業所	給食センター	その他
26	385	118	39	7	56	98	12	1	14	27	—	13
<b>27</b>	<b>379</b>	<b>113</b>	<b>39</b>	<b>7</b>	<b>55</b>	<b>100</b>	<b>12</b>	<b>1</b>	<b>14</b>	<b>27</b>	<b>—</b>	<b>11</b>



給食施設指導状況（表6-4）

年 度	種 別	区 分	総 数	特定給食施設		その他の給食施設
				1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上	1回100食未満又は1日250食未満
26	総 数	個別指導延べ施設数	474	255	94	125
		(再掲)巡回指導	19	7	6	6
		集団指導 開設回数 延べ施設数	6 420	・ 248	・ 42	・ 130
27	総 数	個別指導延べ施設数	352	212	46	94
		(再掲)巡回指導	5	3	0	2
		集団指導 開設回数 延べ施設数	6 357	・ 208	・ 33	・ 116

栄養管理講習会実施状況（表6-5）

開催日	対象	テ ー マ	講 師 名	参 加 施設数	参 加 人数
平成 27 年 5 月 21 日	全給食施設	①食品衛生情報 ②給食施設の栄養管理	①保健所食品衛生監視員 ②保健所管理栄養士	81	86
5 月 25 日	全給食施設	①食品衛生情報 ②給食施設の栄養管理	①保健所食品衛生監視員 ②保健所管理栄養士	96	102
7 月 23 日	経験 5 年未 満の管理栄 養士・栄 養士	新人栄養士が身につけたい栄養 管理について	保健所管理栄養士	38	43
12 月 17 日	児童福祉施 設・幼稚園	園で取組む食物アレルギー対応 について ①事例報告 ②グループワーク	①南大沢保育園 鳥海園長 八王子市立みなみ野保育 園 武富管理栄養士 ②保健所管理栄養士	38	41
1 月 22 日	全給食施設	食のプロフェッショナルを目指 してー栄養士のあるべき姿とは ー	福岡クリニック在宅部 訪問管理栄養士 中村 育子 氏	79	83
平成 28 年 3 月 17 日	全給食施設	栄養士の災害支援ー災害が起こ った時に、私たちができることー	日本栄養士会災害支援栄養 チーム (JDA-DAT) 運営委員 深澤 幸子 氏	53	56

### (3) 地区組織活動支援

市民の食生活の向上、健康づくりの推進のため地域で活動している団体への支援を行った。

人材育成状況（表6-6）

項目	実施回数	延べ人員
地域活動栄養士会	12回	120人
八王子管理栄養士の会	12回	67人

### (4) 栄養表示食品基準等普及促進事業

飲食店や食品業者に対して随時、栄養成分表示等について普及・指導を行った。また、栄養表示基準制度及び特別用途食品表示許可制度に基づく食品についての指導を実施した。

栄養表示・飲食店指導（表6-7）

年度	区分	業者指導（件数）	
		飲食店等	食品関係業者等
26	個別指導延べ施設数	<b>185</b>	<b>10</b>
	（再掲）巡回指導	49	—
	集団指導 開設回数	13	—
	延べ施設数	798	—
27	個別指導延べ施設数	<b>133</b>	<b>7</b>
	（再掲）巡回指導	<b>43</b>	<b>2</b>
	集団指導 開設回数	1	—
	延べ施設数	<b>392</b>	—

収去検査（表6-8）

年度	検査種類	検体数	良	不良	備考
26	栄養成分表示	3	3	—	
	栄養機能食品	2	2	—	
27	栄養成分表示	<b>0</b>	<b>0</b>	—	
	栄養機能食品	<b>0</b>	<b>0</b>	—	

### (5) 国民健康・栄養調査

国民の総合的健康増進を図る基礎資料として、健康増進法に基づき厚生労働省の指定地区対象に調査を実施した。

国民健康・栄養調査実施状況（表6-9）

基準日	調査地区	調査協力世帯数	調査協力人数	身体状況調査日
11月4日	2地区	23世帯	38人	11月17日 11月20日

## (6) 食育推進事業

八王子市食育推進計画(平成23年3月策定)の推進を図るため、八王子市食育推進会議を開催し、事業の取組みとして食育フェスタの実施、食育サポーター活動支援、はちおうじ食育ネット(食育専用ホームページ)運営を行った。

なお、ヘルシーメニュー推進事業として、はちおうじヘルシーメニュー登録店事業の実施と「しっかり食べよう!野菜350」をテーマとした野菜普及キャンペーンを行い、普及啓発に努めた。

### 食育推進事業実施状況

#### ア 食育フェスタ

食育を市民へ広く周知する取組みの一つとして「人と食をむすぶ」をキャッチフレーズとして、はちおうじ食育フェスタを毎年開催。平成27年度は雨天のため中止とした。(実行委員会委託事業)。

#### 食育フェスタ実行委員会(表6-10)

項目	回数	延べ人員	回	開催日	内容等
食育フェスタ 実行委員会	5	102	第1回	6月17日	役員選出、食育フェスタ2015の概要
			第2回	8月5日	全体催し物、会場の配置等
			第3回	9月3日	出展内容の確認、ブースの配置決定等
			第4回	10月21日	当日の運営等
			第5回	12月16日	決算報告 次年度の実施方法について

#### 食育フェスタ開催(表6-11)

年度	会場	参加団体	来場者
26	富士森公園陸上競技場	21団体	約4,000名
27	雨天のため中止	—	—

#### イ 食育サポーター事業

地域・市民に対してより広く食育を広めるため食育サポーターを養成し、食育フェスタ等の食に関わるイベントや地域の食育活動での支援に取り組んだ。

#### 食育サポーター食育活動支援内容(表6-12)

サポーター	認定人数	活動回数	延べ活動人数	活動内容
学生	3	12	52	市民食育講座、野菜普及キャンペーン、夏休み親子料理教室、公衆浴場利用による健康教室、ダイケア、消費者フェスティバル出展
一般	17			

#### ウ ヘルシーメニュー推進事業

市民の健康維持・増進及び生活習慣病予防の観点から、市内の外食産業(飲食店、給食施設、スーパ等)に対し、野菜が多くカロリーにも配慮したヘルシーメニューを提供できる店舗の登録店制度を行い、食環境整備を図っている。また、野菜摂取を普及するためのキャンペーンを実施した。

### ヘルシーメニュー登録店（表 6-13）

年度	登録店舗
27	58

### エ 市民食育講座

6月の食育月間にあわせ、市民の食育への関心や理解を深めるための講演会を実施した。

### 市民食育講座実施状況（表 6-14）

開催日	内容	参加人数
6月20日	みんなで学ぼう！伝えよう！家族をつなぐ和食の話 講師：野崎 洋光 氏	212名

### オ はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）

平成24年4月に開設した食育の専用ホームページにより、市内の食育情報の発信を行った。

URL: <http://www.hachioji-shokuiku.com/>

## 7 予防接種

感染症の発生及びまん延を予防するため、各種予防接種を実施した。

定期（A類疾病）予防接種実施状況（表7-1）

種 別		対象者数	実施者数		
			接種完了者	予診のみの者	
ジフテリア 百日せき 破傷風 急性灰白髄炎 (四種混合)	初回 第Ⅰ期	第1回	3,977人	3,861人	35人
		第2回	3,977人	3,881人	40人
		第3回	3,977人	3,888人	54人
	第Ⅰ期追加		3,980人	3,910人	77人
ジフテリア 百日せき 破傷風 (三種混合)	初回 第Ⅰ期	第1回	50人	1人	—
		第2回	50人	—	—
		第3回	50人	1人	—
	第Ⅰ期追加		200人	16人	1人
急性灰白髄炎 (ポリオ)	初回 第Ⅰ期	第1回	300人	31人	—
		第2回	300人	89人	2人
		第3回	300人	135人	2人
	第Ⅰ期追加		1,440人	528人	4人
ジフテリア 破傷風		第Ⅱ期	4,829人	3,468人	9人
麻しん風しん		第Ⅰ期	3,855人	3,710人	60人
		第Ⅱ期	4,702人	4,304人	39人
日本脳炎	初回 第Ⅰ期	第1回	4,380人	4,896人	56人
		第2回	4,380人	4,747人	53人
	第Ⅰ期追加		4,583人	5,012人	53人
	第Ⅱ期		4,917人	2,377人	9人
結核（BCG）			3,977人	3,794人	47人
麻しん第Ⅰ期（再掲）			・	2人	・
ヒブワクチン	初回	第1回	3,977人	3,877人	22人
		第2回	3,977人	3,819人	8人
		第3回	3,977人	3,763人	7人
	追加		3,908人	3,816人	48人
小児用肺炎球菌ワクチン	初回	第1回	3,977人	3,882人	15人
		第2回	3,977人	3,855人	4人
		第3回	3,977人	3,792人	2人
	追加		3,908人	3,748人	22人
水痘（みずぼうそう）	第1回	3,908人	3,976人	47人	
	第2回	3,908人	3,596人	52人	
子宮頸がん予防ワクチン	第1回	2,493人	8人	—	
	第2回	2,493人	7人	—	
	第3回	2,493人	7人	—	

\* 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日から積極的接種勧奨を中止

### 高齢者インフルエンザ（B類疾病）予防接種（表7-2）

実施期間	平成27年10月13日～平成28年1月31日
対象者	65歳以上の方
	60～65歳未満で心臓等内部疾患に1級程度の障害のある方
対象者数	139,609人
接種者数	51,216人
接種率	36.7%
自己負担額	2,500円（生活保護受給者等は無料）

\* 町田市、日野市、多摩市、稲城市の医療機関での接種を実施（相互乗り入れ）

### 高齢者肺炎球菌予防接種（表7-3）

区分	定期接種（B類疾病）	任意接種
実施期間	平成27年4月1日 ～平成28年3月31日	平成27年4月1日 ～平成28年3月31日
対象者	65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・ 90歳・95歳・100歳の方 60歳～65歳未満で心臓等内部疾患に 1級程度の障害がある方	65歳以上で定期接種対象以外の方
自己負担額	4,000円（生活保護受給者等は無料）	
接種者数	9,144人	1,907人
計	11,051人	

### 麻しん風しん特別予防接種（表7-4）

実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
対象者	2歳以上19歳未満で麻しん風しん混合第1期・第2期・第3期の定期接種を受けられなかった方
接種者数	250人
自己負担額	なし

\* 市の制度により実施

### 先天性風しん症候群対策の風しん予防接種実施状況（表7-5）

実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日	
対象者	19歳以上の妊娠を予定又は希望する女性で風しんの抗体検査結果より、十分な免疫がないと判断された方	
接種者数	麻しん風しん混合	255人
	風しん	1人
	合計	256人
自己負担額	なし	

\* 市の制度により実施

### 水痘（みずぼうそう）特別予防接種（表7-6）

実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
対象者	3歳以上5歳未満で、水痘にかかったことがなく、水痘ワクチンを1回も受けたことがない方
接種者数	463人
自己負担額	なし

\* 市の制度により実施

## 8 医療安全支援センター

平成24年9月に医療安全支援センターを保健所内に開設し、市民が抱える医療への不安や苦情、相談等に対応するとともに、医療機関や市民に対して、医療安全に関する助言や情報提供を行った。

平成28年2月10日、八王子市医療連携推進懇談会に当センターの運営状況について報告した。

### 医療安全相談窓口

#### 相談件数（表8-1）

年度	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
26	908	73	64	82	70	65	84	77	71	68	88	70	96
<b>27</b>	<b>952</b>	<b>90</b>	<b>80</b>	<b>96</b>	<b>84</b>	<b>88</b>	<b>83</b>	<b>67</b>	<b>70</b>	<b>61</b>	<b>68</b>	<b>88</b>	<b>77</b>

#### 相談者（表8-2）

年度	本人	家族・親戚	友人・知人	医療機関	その他	不明
26	636	239	7	3	13	10
<b>27</b>	<b>663</b>	<b>235</b>	<b>13</b>	<b>3</b>	<b>15</b>	<b>23</b>
割合 (%)	69.6	24.7	1.37	0.3	1.58	2.4

#### 内容（表8-3）

年度	相談	苦情
26	681	227
<b>27</b>	<b>792</b>	<b>160</b>
割合 (%)	83.2	16.8

処理経過（表 8 - 4）

年度	課題整理	対処方法の提案・助言・説明	医療・関係機関案内	当該機関（施設）へ連絡	立入検査（担当部署引継ぎ含む）	相談継続	市の関係部署案内	傾聴	その他（相談者から中断）	対応困難で終了（暴言等）
27	12	445	387	4	3	7	60	23	11	0